

ViewFile Lite

PL-A7650 取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み下さい。

もくじ

はじめに.....	1
動作環境.....	2
インストール.....	2
M-Receive の設定.....	3
MV シリーズのネットワーク設定.....	4
1. ネットワーク転送機器セットアップ開始.....	4
2. 接続形態の選択.....	4
3. ネットワークアダプタの選択.....	5
4. コンピュータのネットワーク設定の確認.....	5
5. MV シリーズのネットワーク設定.....	6
6. MV シリーズのリモコンによる設定操作.....	6
7. 接続確認.....	7
8. 設定完了.....	8
MV シリーズとの接続確認.....	9
M-Receive の使い方.....	10
Media Import の設定.....	11
Media Import の使い方.....	12

※ 画像メディアブラウザ GT Finder/GT Plus をご使用の場合

ViewFile Lite をコンピュータにインストールする必要はありません。

GT Finder/GT Plus は ViewFile Lite を使用しません。

本書に記載の各会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

はじめに

ViewFile Lite は、ViewFile M-Receive と ViewFile Media Import、2 種類のソフトウェアの総称です。（以後はそれぞれ“M-Receive”、“Media Import”と省略します。）

主に、ティアック製画像記録装置 MV シリーズで記録した画像を画像ファイリングシステムへと転送するために使用します。

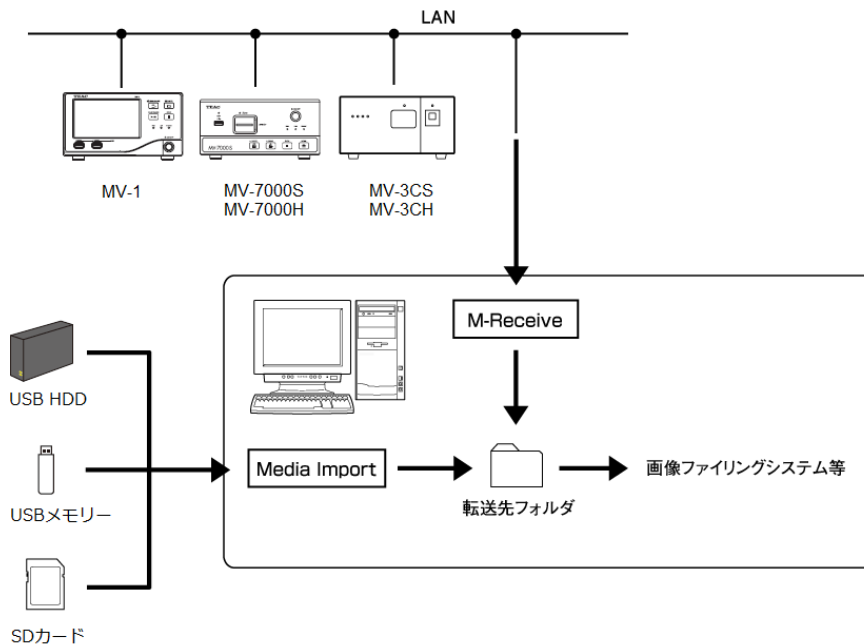
M-Receive、Media Import ともローカルコンピュータのハードディスクではなく、ネットワークに接続されているコンピュータの共有フォルダに保存することもできます。

M-Receive

M-Receive は、MV シリーズからネットワークを介して転送される静止画 / 動画を受信し、ファイルとしてコンピュータのフォルダに保存します。

Media Import

Media Import は、MV シリーズで記録した SD メモリカードと USB 記録デバイスの静止画 / 動画をコンピュータのフォルダに保存します。



動作環境

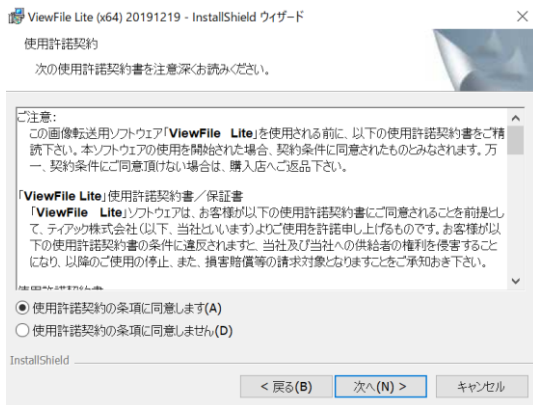
OS	Microsoft Windows 8/10 (32 / 64 ビット日本語版)
CPU	動作クロック 2GHz 以上の Intel 互換 (x86) プロセッサ
メモリ	2GB 以上
ハードディスク	プログラム領域として 20MB 以上の空き容量

インストール

1. ViewFile Lite を弊社 Web サイト (<https://teacmv.jp>) よりダウンロードして頂くことにより、インストールを開始します。自動的にインストールが開始しない場合は、「setup.exe」をダブルクリックしてください。

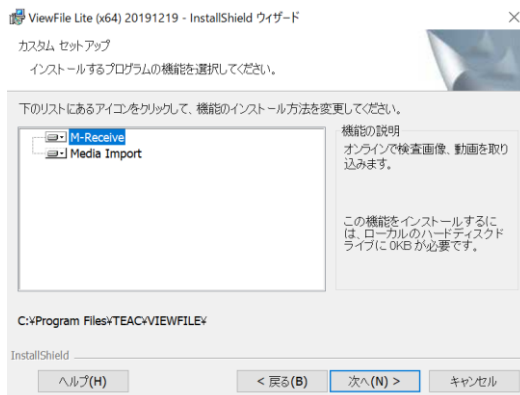
2. 使用許諾契約

インストール開始後、[次へ] をクリックします。



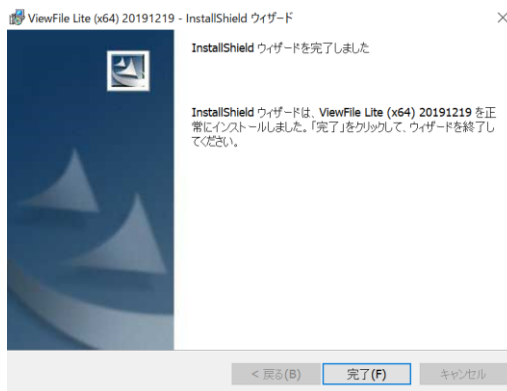
「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、[次へ] をクリックします。

3. インストール先の指定



このまま [次へ] をクリックし、その後表示される指示に従ってインストールを継続します。

4. インストール完了



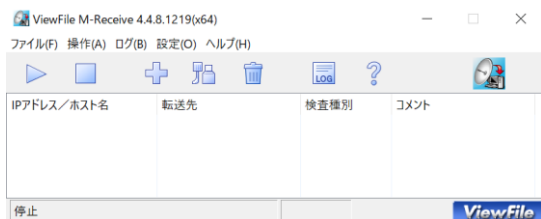
ViewFile Lite のインストールは完了しました。[完了] をクリックします。


M-Receive の設定

M-Receive を使うには事前に「受信セット」を作成しておく必要があります。受信セットとは、「画像ファイルをどこからどこに転送するか」の台本のようなものです。

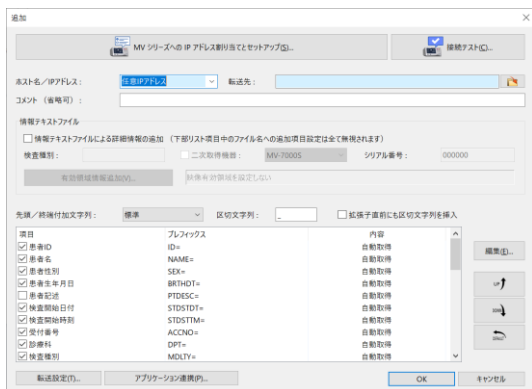
受信セットを作成しておくことにより、自動的に画像データを受信し、指定のフォルダに保存することができます。

1. Windows の [スタート] メニューから [(すべての) プログラム] → [VIEWFILE] → [M-Receive] を選択します。
2. M-Receive のメインウィンドウが表示されます。



状態が「停止」であることを確認し、 [追加] ボタンをクリックします。

3. [追加] ウィンドウが表示されます。




最低限設定する必要があるのは、[ホスト名 / IP アドレス] と [転送先] です。これら以外は初期設定のままでも画像の受信ができます。

[ホスト名 / IP アドレス]


転送元の MV シリーズの IP アドレスを指定します。「任意 IP アドレス」を指定すると、ネットワーク上にあるどの MV シリーズも、その全てを転送元と認識します。


[転送先フォルダ]


受信した画像データを保存するフォルダをフルパスで指定します。入力ボックス右側の  ボタンをクリックすると、フォルダを選択するウィンドウが表示されます。

4. [追加] ウィンドウの [OK] をクリックします。
メインウィンドウに、今設定した受信セットが表示されます。

IPアドレス/ホスト名	転送先	検査種別	コメント
<input checked="" type="checkbox"/> 192.168.0.101	C:\..Yimport	自動取得	

5. さらに受信セットを追加するには、
 [追加] ボタンをクリックします。

修正するには、修正したい受信セットをクリックして  [修正] ボタンをクリックします。

削除するには、削除したい受信セットをクリックして  [削除] ボタンをクリックします。

- 同一の IP アドレス (「任意 IP アドレス」を含みます) を指定した受信セットを追加することはできません。

以上で M-Receive の設定は終わりです。

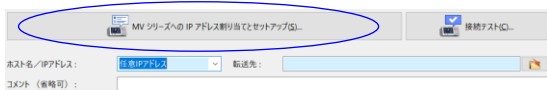
M-Receive で画像ファイルを受信するためには、M-Receive が動作するコンピュータと、接続される MV シリーズの両方に適切なネットワーク設定が行われている必要があります。

次ページからコンピュータと MV シリーズ両方のネットワーク設定手順を解説します。

MV シリーズのネットワーク設定

MV シリーズから転送される画像ファイルを受信するには、M-Receive が動作するコンピュータと、接続する MV シリーズ全てのネットワーク設定が適切に行われていなくてはなりません。

これらの設定を行うために、M-Receive の「追加」(または「修正」) ウィンドウの [MV シリーズへの IP アドレス割当てとセットアップ] ボタンをクリックしてください。



ネットワーク転送機器セットアップウィンドウが表示されます。ここからコンピュータのネットワーク設定と、MV シリーズのネットワーク設定を開始します。

1. ネットワーク転送機器セットアップ開始



[次へ] ボタンをクリックします。

2. 接続形態の選択



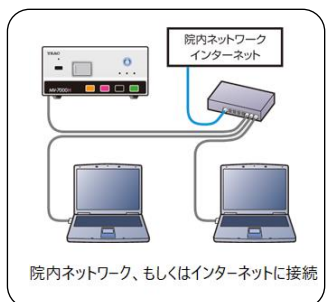
接続する MV シリーズの型式を選択し、さらに接続形態を選択します。

同一ネットワークにこのコンピュータと MV シリーズのみが

接続されている場合 (一対一で接続する場合など) は、「このコンピュータと転送機器のみの閉じたネットワーク接続」を選択してください。

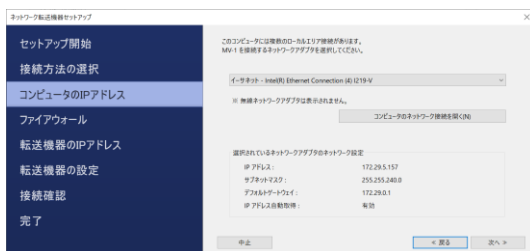


このコンピュータと MV シリーズの他にも別のコンピュータなどが同一ネットワークに接続されている場合は、「院内ネットワーク、もしくはインターネットに接続」を選択してください。



[次へ] をクリックすると、「3. ネットワークアダプタの選択」に進みます。

3. ネットワークアダプタの選択



コンピュータに1つだけしかネットワークアダプタが存在しない場合はこのウィンドウは表示されません。「4. コンピュータのネットワーク設定の確認」に進みます。

MVシリーズを接続するネットワークアダプタを選択して「次へ」をクリックしてください。

4. コンピュータのネットワーク設定の確認

4-1. 「2. 接続形態の選択」で「このコンピュータと転送機器のみの閉じたネットワーク接続」を選択した場合

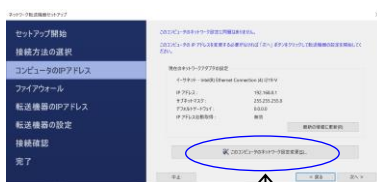


コンピュータのネットワーク設定が既に済んでおり、変更の必要がない場合は「次へ」ボタンをクリックして「5. ファイアウォール」に進みます。



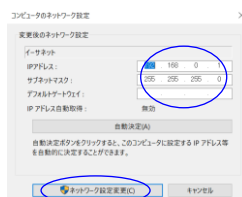
IP アドレス自動取得が無効の場合

MVシリーズと接続するためには、コンピュータに固定 IP アドレスを割り当てる必要があります。IP アドレス自動取得が有効である場合は、「このコンピュータのネットワーク設定変更」ボタンをクリックしてネットワーク設定を変更してください。



IP アドレス自動取得が有効の場合

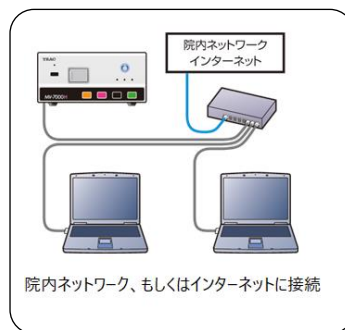
クリックするとコンピュータのネットワーク設定を変更（下図）できます。



IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイをネットワーク管理者に確認の上入力してください。

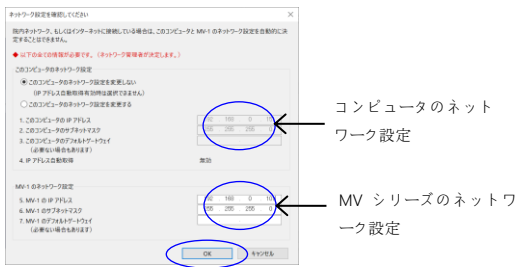
クリックすると入力した設定に変更します。
Windows 8/10 の場合は、下のユーザーアカウント制御の確認ウィンドウが表示されますので、必ず「続行」をクリックしてください。

4-2. 「2. 接続形態の選択」で「院内ネットワーク、もしくはインターネットに接続」を選択した場合



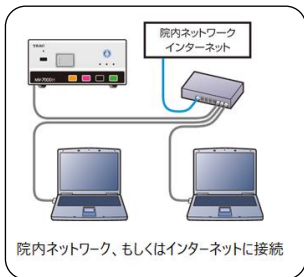
コンピュータのネットワーク設定と、MVシリーズに割り当てる IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定するウィンドウ（次ページ）が表示されます。

全ての設定をネットワーク管理者に確認の上入力してください。（次ページ）



クリックすると入力した設定に変更します。
Windows 8/10 の場合は、下のユーザーアカウント制御の確認ウィンドウが表示されますので、必ず「続行」をクリックしてください。

5. MV シリーズのネットワーク設定



「2. 接続形態の選択」で「院内ネットワーク、もしくはインターネットに接続」を選択した場合は、既に MV シリーズの IP アドレスやサブネットマスクを入力済みであるためこのウィンドウは表示されません。「7. MV シリーズのリモコンによる設定操作」に進みます。

MV シリーズに設定する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイをこのまま変更する必要がなければ「次へ」ボタンをクリックしてください。

接続する MV シリーズに割り当てる IP アドレスやサブネットマスクがネットワーク管理者より指定されている場合はその設定を入力の上、「次へ」ボタンをクリックしてください。

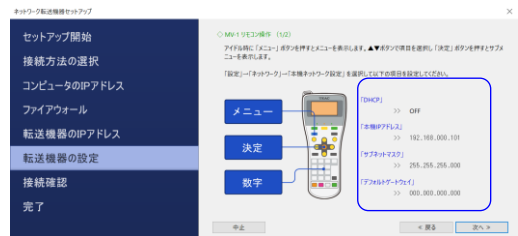
6. MV シリーズのリモコンによる設定操作



リモコンを操作して MV シリーズのネットワーク設定を変更します。

「次へ」ボタンをクリックするとリモコン操作を 2 ページにわたって表示します。表示される設定値をリモコン操作により入力してください。

1 ページ (全 2 ページ中)

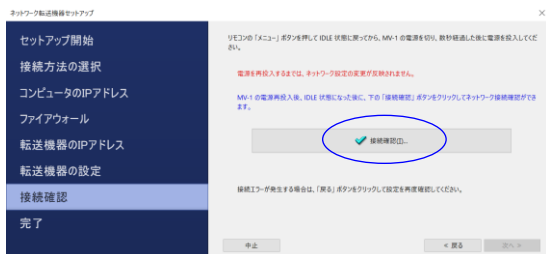


2 ページ (全 2 ページ中)



これら 2 ページ共に「次へ」ボタンをクリックすると「8. 接続確認」に進みます。

7. 接続確認



↑
[接続確認] ボタンをクリックするまで有効になりません。

接続しているMVシリーズの電源を投入しなおした後に [接続確認] ボタンをクリックしてください。

● 接続テスト結果

(MV-1, MV-7000S/MV-7000H, MV-3CS/MV-3CH)



MV シリーズのリモコンで設定が正しく行われていない場合は次のように表示 (一例) されます。



設定内容に誤りがあることを示しています。

[閉じる] ボタンをクリックすると以下の確認メッセージを表示します。

設定の修正が必要です



1つ以上の設定に誤りがあります。
[OK] ボタンをクリックすると、設定を自動的に修正します。

OK

[OK] ボタンをクリックすると M-Receive が設定を修正し、再度接続確認を行います。

● 接続テスト結果

(MV-1, MV-7000S/MV-7000H, MV-3CS/MV-3CH)



MV シリーズでは、その IP アドレスにいずれかのネットワーク機器が接続されていることは確認できますが、現在の設定内容を表示することと、M-Receive によって設定を変更することはできません。

● 接続テスト結果 (失敗)



このように、「~が応答しません」というメッセージが表示される場合は、接続に失敗する原因として次のようなことが考えられます。

- ・ ネットワークケーブルが接続されていない。
- ・ コンピュータの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定が間違っている。
- ・ 接続している MV シリーズの IP アドレスかサブネットマスクが間違っている。
- ・ MV シリーズのネットワーク設定変更後に電源の再投入を行っていない。

この状態のままでは、MV シリーズからのファイル受信に成功することはありません。

各ケーブルの接続状態の確認の上、「1. ネットワーク転送機器セットアップ開始」からやり直してください。

8. 設定完了



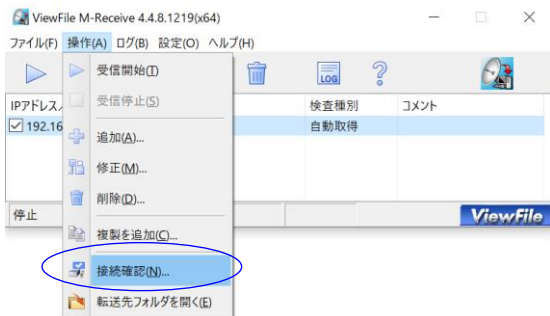
以上でコンピュータと MV シリーズのネットワーク設定は完了です。

MV シリーズとの接続確認

既に作成済みの「受信セット」に割り当てられている MV シリーズと接続確認を行います。


MV シリーズの「IP アドレス / ホスト名」として「任意 IP アドレス」が設定されている場合は、通信を行う MV シリーズの IP アドレスを特定できないため接続テストを実行できません。

1. 受信セットを右クリックして、メニューから [接続確認] を選択します。



受信待機状態のときは設定の変更や接続確認を行うことはできません。先に受信待機状態を解除してください。

受信待機状態を解除するには、

 [受信停止] ボタンをクリックします。

2. MV シリーズとの通信を開始します。



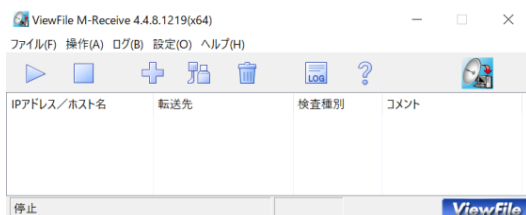
MV シリーズの設定に誤りがある場合はその旨表示します。また、自動転送設定に限り有効 / 無効の変更ができます。

[設定の自動修正または変更] ボタンをクリックすると、設定の誤りを修正し、もう一度接続確認を行います。

M-Receive の使い方

M-Receive を起動する


- Windows の [スタート] メニューから [(すべての) プログラム] → [VIEWFILE] → [M-Receive] を選択します。



M-Receive は初期設定により、起動と同時に受信待機状態になります。あとは何もする必要はありません。MV シリーズ側で転送動作が行われると自動的に受信します。

受信待機状態のときは設定を変更することはできません。設定を変更する場合は受信待機状態を解除してください。

受信待機状態を解除するには、

 [受信停止] ボタンをクリックします。

- M-Receive を終了するには、
[ファイル] メニューから [終了] を選択するか、ウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックします。

待機中 / 受信中は、終了ボタン [×] を押しても M-Receive は終了せずにタスクトレイ (通知領域) にしまわれます。終了するには [ファイル] メニューの [終了] を選択してください。


Media Import の設定

Media Import を使うには事前に「実行セット」を作成しておく必要があります。実行セットとは、「画像ファイルをどこからどこにコピーするのか」の台本のようなものです。

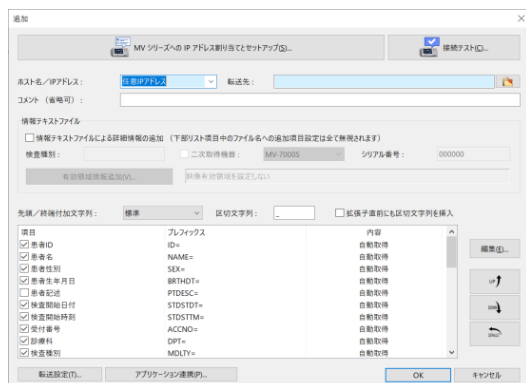
実行セットを作成しておくことにより、ボタンを1回クリックするだけでコピーすることができ、コピーのたびにフォルダを選択したりファイル名を変更したりする手間が省けます。

1. Windows の [スタート] メニューから [(すべての) プログラム] → [VIEWFILE] → [Media Import] を選択します。
2. Media Import のメインウィンドウが表示されます。




状態が「停止」であることを確認し、 [追加] ボタンをクリックします。

3. [追加] ウィンドウが表示されます。




最低限設定する必要があるのは、[転送元フォルダ] と [転送先フォルダ] です。これら以外は初期設定のままでも画像のコピーができます。

[転送元フォルダ]


コピー元メディアのルートフォルダ名をフルパスで指定します。入力ボックス右側の ボタンをクリックすると、コピー元フォルダを選択するウィンドウが表示されます。

[転送先フォルダ]


コピー先のフォルダ名をフルパスで指定します。入力ボックス右側の ボタンをクリックすると、コピー先フォルダを選択するウィンドウが表示されます。

4. [追加] ウィンドウで [OK] をクリックします。メインウィンドウに、今設定した実行セットが表示されます。


IPアドレス/ホスト名	転送先	検査種別	コメント
<input checked="" type="checkbox"/> 192.168.0.101	C:\...\import	自動取得	

5. さらに実行セットを追加するには、 [追加] ボタンをクリックします。

修正するには、修正したい実行セットをクリックして

 [修正] ボタンをクリックします。

削除するには、削除したい実行セットをクリックして

 [削除] ボタンをクリックします。

- 転送元フォルダが重複する複数の実行セットを追加することはできますが、それらを同時に実行することはできません。

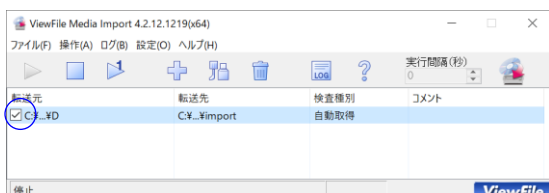
以上で Media Import の設定は終わりです。


Media Import の使い方

1. [転送元]のドライブに、MV シリーズで記録した SD メモリカード、または USB 記録デバイスを入れます。

このとき、SD メモリカードや USB 記録デバイスの書き込み禁止を解除してください。Media Import の初期設定では、コピーするとコピー済みのマーク（転送マーク）を SD メモリカードや USB 記録デバイスに書き込むようになっているからです。

2. メインウィンドウで、実行したい実行セットの左にチェックマークがあることを確認します。



3.  [一度だけ実行] ボタンをクリックします。

コピーが始まります。コピーされるのは、前回のコピー以後に追加されたファイルだけです。

コピーを中止するには、



[停止] ボタンをクリックします。

4. Media Import を終了するには、
[ファイル]メニューから [終了] を選択するか、ウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックします。

実行中は、終了ボタン [×] を押しても Media Import は終了せずにタスクトレイ（通知領域）にしまわれます。

終了するには [ファイル]メニューの [終了] を選択してください。



[一時だけ実行]

このボタンをクリックすると、一度だけコピーを実行し、コピー終了後は停止状態になります。



[実行]

このボタンをクリックすると、まず1回コピーを実行します。そのコピーの終了後、[実行間隔]に設定した周期で全ての実行セットの転送元フォルダ（サブフォルダ含む）を確認します。そして未転送ファイルがあるとコピーします。

[実行間隔]は0~99999（秒）の範囲で設定できます。0に設定すると、転送元フォルダに変更があるとすぐにコピーを開始します。

- [実行] ボタンは初期設定では無効になっています。有効にするには [設定]メニューから [全般] を選択し、表示されたウィンドウで [「実行」ボタンを無効にする] のチェックを外します。

ティアック株式会社

製品に関するお問い合わせは...

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

TEL 042-356-9160 FAX 042-356-9185

受付時間 9:30 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日を除く)

医用画像ファイリングホームページ

<https://teacmv.jp>